

第286回教育研究評議会議事要録

1. 日時 平成29年8月1日(火) 13:30～15:05
2. 場所 事務局棟 第2会議室
3. 出席者 中井学長、中田理事・副学長、小沢理事・副学長、若井理事・事務局
長、真田副学長、千葉副学長
朝賀人間発達文化学類長、谷評議員、中村評議員
鈴木行政政策学類長、田村評議員、垣見評議員
佐野経済経営学類長、伊藤評議員
二見共生システム理工学類長、山口評議員、佐藤評議員
初澤うつくしまふくしま未来支援センター長
【オブザーバー】生源寺農学系教育研究組織設置準備室長、上井監事、
4. 欠席者 三浦理事・副学長、難波環境放射能研究所長

5. 議事

【確認事項】

第285回教育研究評議会議事要録を原案のとおり確認した。

【審議事項】

(1) 当面の入試改革方針について

真田副学長から、資料1に基づき、当面の入試改革の基本方針及び各学類に関わる検討課題について提案があり、今回の提案に至った経緯及び全学入試改革実行WGでの検討内容について説明があった。

質疑応答の中で、英語4技能と入試への対応、全学作問体制検討に関わる今後の進め方について意見が出された。

中井学長から、意見への回答に先立ち、国立大学協会の現時点における英語4技能への考え方、平成32年度(平成33年度入学者選抜)以降に実施する国立大学の入学者選抜制度に関する基本方針の検討状況及び今後のスケジュール等について説明があった。

真田副学長から、今回の提案を踏まえて、今後、全学作問体制の検討ロードマップを作成していきたいとの発言があった。また、中井学長から、人的資源不足の観点に加えて、アドミッションポリシーに沿った個別入試の在り方を考えることが重要である旨、発言があった。

審議の結果、原案のとおり承認され、今後の手続きとして教員控室に資料掲示の上、各学類教員会議へ意見聴取することとし、第289回教育研究評議会

(9月19日開催予定)にて各学類から戻り報告をすることとした。

【報告事項】

(1) 平成30年度概算要求について

若井理事・事務局長から、資料2に基づき、平成30年度概算要求関係書類の内容について報告があった。

質疑応答の中で、現在検討されているCERA及びFURE再編と今回要求されたふくしま未来創生推進本部(仮称)との関係性について質問が出された。若井理事・事務局長から、当初は、再編の構想で要求する予定だったが、さらに地方創生に資するものとして発展させた形で要求を行った旨、説明があった。引き続き、小沢理事・副学長から、再編については、今回の要求内容を踏まえ、社会連携推進機構(仮称)設置検討WGにおいて一定の方向性を示す予定である旨、発言があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(2) 平成29年度科学研究費助成事業採択状況について

小沢理事・副学長から、資料3に基づき、平成29年度科学研究費助成事業全種目の採否結果が判明したことによる採択状況について報告があり、縣研究振興課長から、科研費採択件数及び配分額の推移について説明があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(3) マクマスター大学(カナダ)との学术交流協定締結について

真田副学長から、資料4に基づき、マクマスター大学(カナダ)との学术交流協定締結について報告があり、大学の概要、交流目的、協定締結形態として部局大学間協定とすること、協定内容について説明があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(4) 文藻外語大学(台湾)との大学間交流協定締結について

真田副学長から、資料5に基づき、文藻外語大学(台湾)との学术交流協定及び学生交流協定締結について報告があり、大学の概要、交流目的、協定内容について説明があった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。

(5) その他

オープンキャンパス2017について

真田副学長から、資料6に基づき、今年度の新たなプログラム内容及び変更点

について説明があった。

各学類教員会議へ、口頭にて報告することとした。

科研費セミナーの開催について

小沢理事・副学長から、資料7に基づき、平成30年度科研費申請の採択件数・採択率の増加を目指すことを目的とした「科研費セミナー」の開催及び主な内容についてアナウンスがあった。

各学類教員会議へ、教員控室に資料掲示の上、報告することとした。